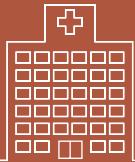


YOKA HOSPITAL NEWS

八鹿病院 ニュース



2014年

10月号

地域に暮らす人々と共に
心あたたかな医療をすすめたい



緩和ケア病棟回診の様子

● yokahospital 「医療」

緩和ケア科

- 現場リポート！「健康センター」
- 看護部だより「認定看護師のご紹介」
- トピックス

公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、
医の倫理を基本に、質の高い医療
と優れたサービスをもって、住民
の健康を守り、地域の発展に尽く
します。



当院は**敷地内全面禁煙**です
ご協力宜しくお願い致します

緩和ケア科

「緩和ケア」を 存知でしょうか？

緩和ケアとは、人生最後の貴重な時間を、その人らしく有意義に、苦痛なく、できればご家族と一緒に過ごしていただきための優しいチーム医療とさあやかなケアのことです。

現在の医療では、QOL (Quality of life = 生活の質) が重要視されるようになりましたが、緩和ケアではあります QOD (Quality of death = 死の質) も大切に考えています。

私たちは、がんという病気を持った患者さんがあつとりの人間として尊重され、最期まで豊かな生を過ごし、その延長として「生き生きとした死」を迎えることができるよう支援したいと思っています。

この世はいのちのフレーで成り立っています。親から子へ、子から孫へと連綿と受け継がれてゆくのがの繩りレーです。そのひとが生きてきたあかしと積み重ねてきた貴重な想いが、そのおまの形でご遺族へバトンタッチされるように支援するのも私たちの役目であると考えています。



但馬地域で唯一の緩和ケア病棟は当院11階にあり、八鹿の街並みと八木川の流れが眼下に見渡せ、そして西には妙見山を望むことができます。

ベランダには色とりどりの花が溢れる庭園と十数匹の鯉が優雅に泳ぐ水槽が配置されています。

毎週火曜日午後には音楽療法があり、ピアノ演奏に合わせて歌い、手拍子をして楽しい時間を過ごしています。

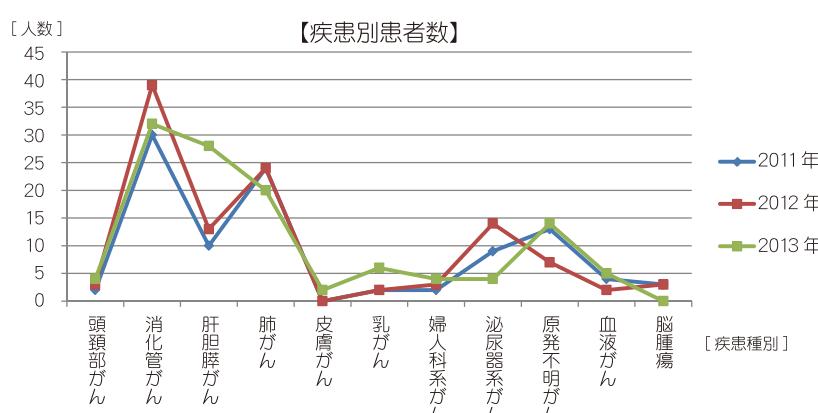
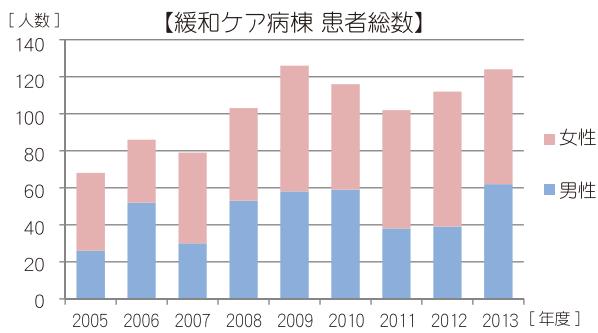
わざわざ春のお花見会、夏の七夕会、秋のお月見会、冬のクリスマス会など、巡りゆくそれぞれの季節を感じいただけるように、さまざまな行事も企画しています。



▲ 音楽療法の様子

部屋はすべて個室で回廊

式に配置されており、明るい廊下に季節の花や植物が置かれ、患者さんやご家族のこころを癒してくれています。



季節の行事を行い患者さんとご家族が一緒に過ごしていただき、想い出作りと、昔の思い出を懐かしんでいただくように行っています



誰もがいざなは死を迎える。死亡率は100%です。大切なご家族の、そして自分自身の、今までの生と必ず訪れる死について一度真剣に考えてみませんか。

そうすることで残された人生がよりいつそう輝くのではないでしょか。

● 心の通った看護を行う

がん末期の患者さんは一人一人そのひとらしい日々を生きておられます。食べられない、痛みがある、呼吸が苦しい、自分はなぜこの病気になってしまったのだろう、身体がだるい、誰も来てくれない、寂しい悲しい、我慢をして日々を過ごされている方も多いです。それでも、感謝して「ありがとうございます」と言葉に出して微笑んでくださいます。残された時間をどのようにして生きていいくか？私たちはその時間を共有して心を通わせたいと考えます。患者さんの心の奥の思いに耳を傾け、プロセスレコードを書き、患者さんの言葉の意味を考え、心に寄り添える看護ができているのかカンファレンスで振り返っています。

食事の進まない方には緩和ケア病棟特製のミックスジュース。イチゴのみつをかけたかき氷などもご用意しています。

カンファレンスの様子 ▶





現場リポート！『あなたの知らないかもしれない八鹿病院』

健康センター



生活習慣病や重大な疾患など、あらゆる病気のサインを見つけるサポートをしています。

ドック室は老人保健施設の4階にあります。病院の中心からは外れていますの

健康センターは人間ドックと健診を行っている部署です

で、ドックに来られたことのある方は、ずいぶん歩き、迷路のような通路を通りた記憶があるのでないでしょうか。

健康センター長の岸本医師を中心に、新改医師と4名の保健師、3名の事務職員が人間ドック・健診・保健指導等の業務を行っています。

ドック以外にも、病院で行っている検診には、子宮がん検診・乳腺ドックなどがあります。地域に出向くこともあります。養父市市民ドックでの腹部エコー検査も当院が担当しています。

健診やドックの受付・調整の窓口は健康センターで行っていますが、実際は医師・保健師・診療放射線技師・臨床検査技師・視能訓練士・事務職員など、病院の多くの職種の協力を得て健診業務が成り立っています。



▲ 子宮がん検診受付 ▶



▲ 乳がん検診受付



▲ 外科医師（乳腺専門医）による読影の様子



▲ 市民ドック後の医師による判定、事務職員による結果入力や郵送準備の様子

人間ドック受診者の1日の検査の流れ

どれだけのスタッフが関わっているのかご紹介いたします。

を追いかながら、

スタート



保健師

更衣・問診票記入後、まずは採血。
▼ 血液検体は検査室に運ばれます。



事務職員



▲ 記入していただいた問診票を参照しながら、内容の確認や追加質問。

検査技師



検査技師



視能訓練士

▲ 聴力検査

医師



検査技師



眼科医師

▲ 眼科では視力測定、眼圧測定、眼底検査などを行います。データをもとに医師が網膜や視神経、血管に異常がないか判定します。



医師

▲ 内視鏡検査

放射線技師



検査技師

画像診断科では胸部レントゲン、腹部エコー、胃透視検査などを行い、撮影・記録された画像を医師が読影します。

放射線科医師



医師

保健師

▲ 全ての検査終了後、異常の有無や治療・再検査が必要かどうかなど、ドック室にて結果説明を行います。必要があれば、保健師による保健指導を行います。

◀ 結果は多くの医師による判定後に取りまとめ、後日、健診結果票を郵送します。

その他、進学・就職前の健康診断や成人の予防接種、会社の健康診断などの窓口にもなっていますので、お気軽に問い合わせください。

申込み・お問い合わせは **人間ドック室** まで



熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護を実践

認定看護師とは？

認定看護師（CN）とは、日本看護協会が認定しているもので、特定の分野において熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護を実践し、また、実践を通して看護師への指導・相談を行う者を指します。

平成26年9月現在、特定されている認定看護分野は21あり、当院にはそのうち7分野——皮膚・排泄ケア2名、乳がん看護1名、がん性疼痛看護1名、緩和ケア1名、認知症看護1名、救急看護1名、訪問看護1名——の認定看護師が所属しています。

但馬地域には、がんや慢性疾患などを患い鬱病生活を送つておられる方、高齢者のひとり暮らし、認知症や寝たきりの家族を介護している方など、さまざま不安や悩みを抱えた患者さん・ご家族があられます。私たち認定看護師は専門知識や技術をもつてその方々に寄り添い、力や支えとなることをを目指して日々の看護を行っています。また、各自学会や研修会で自己研鑽に努め、年に一度の看護実践発表会や、毎月のCN会などを通じてお互いに協力や連携を図り、院内外の看護の質向上するために活動しています。

認定看護師＝ Certified Nurse

各専門分野における3つの役割

1. 実践

個人・家族・集団に対し、熟練した看護技術を用いて水準の高い看護を実践する。

2. 指導

看護職に対し看護実践を通して指導を行う。

3. 相談

看護職に対し問題解決の手助けとなるよう相談を行う。



▲ 患者さんやそのご家族を対象に、病気や治療についてお話しする機会を設けています。



◀ 「enjoy かんご」と題した研修会では、それぞれの専門分野について看護師たちへの教育・指導を行っています。



▲ 災害発生に備え、集団災害訓練でリーダーシップをとる救急看護CN



▲ 褥瘡回診の様子



▲ 救命処置研修の様子



緩和ケア

生命を脅かす病気の患者さんとそのご家族の身体的・精神的・社会的・スピリチュアルな苦痛を軽減するよう、情報と技術の提供をさせていただきます。そして、最期の瞬間までその人らしく生きることができるように、患者さんやご家族と一緒に考え、サポートさせていただきます。



小浜 真利子

がん性疼痛看護

がんの痛み、がんの治療（手術・化学療法・放射線療法）による痛み、鎮痛薬の効果・副作用などでお困りのとき、ご相談ください。また、症状の進行や生活の変化に伴う不安など、さまざまな苦痛を抱える患者さん・ご家族の負担が和らぐように、一緒に考えさせていただきます。



長瀬 わかな

救急看護



赤石 奈々

トリアージ（緊急度判定）を確実に行い、その場に即した迅速で確実な看護技術を実践します。また、医師および他の医療従事者と協働し、患者さんとご家族の相談・調整の役割を果たせるよう努力します。



植木 佳代子

乳がん看護

患者さんに寄り添う看護と、乳がん患者さんやご家族を中心としたチーム医療の発展に努めます。診断から治療中・治療後のフォロー期間を通じて、乳がん患者さんやご家族の方が体験される不安や悩み、心配などを聴き、一緒に考えながらサポートしていきます。また、乳がんの早期発見に関する啓発活動も行っています。

訪問看護

医療と生活の場をつなぐのが訪問看護師の役割だと考えます。在宅で療養される患者さんやご家族が、住み慣れた地域で安心して望む生活が送れるように「いのちと生活を支える看護」をおこないます。地域と連携し、毎日の安心を届けます。



藤原 優子

認知症看護

認知症になつても安心して暮らせる地域をめざすため、少しでも皆様の支えになれる看護を目指してあります。認知症だから…ではなく、認知症でも…を中心に認知症の患者さん、ご家族の方と一緒に考えながらサポートさせていただきます。



中村 薫

皮膚・排泄ケア



岩本 房子

褥瘡やストーマを保有している方の皮膚障害をはじめ、病気や手術後の排泄管理、失禁による皮膚かぶれなど、さまざまな問題や悩みを抱えている方の相談やケアについてサポートさせていただきます。さらに、他職種と協働し、オストメイト（人工肛門を保有している方）の皆さまが安心・安全な生活ができるよう支援していきます。また、抗がん剤や放射線治療により出現する皮膚障害の予防方法などを一緒に考えていきます。但馬は全国でも高齢化率の高い地域です。寝たきりになるとできやすい褥瘡（床ずれ）に対して、当院の褥瘡対策チームでは、院内はもちろん地域と連携し「但馬褥瘡“ゼロ”作戦」を取り組んでいます。



吉野 洋子

トピックス

7月19日 市民公開講座「気になりませんか？乳がんのこと」

7月19日土曜日、当院にて平成26年度市民公開講座を開催し、一般の方など71名の方がご参加くださいました。講座では、当院乳腺外科部長で乳腺専門医の水田医師が「知ってあきたい乳がんの知識」、乳がん看護認定看護師の植木外来師長が「乳がん診療における看護師の役割」というテーマで講演を行いました。講演後には質問コーナーを設け、参加者の皆様にもご好評いただきました。このような講座を開催することで、病気の理解や早期発見につながればと思います。



8月5日・6日 ふれあい看護体験

夏休みの時期を利用して、「ふれあい看護体験」を開催しました。2日間で72名の高校生の皆さんに参加され、各部署でさまざまな体験をしていただきました。チーム医療の様子を実際に感じることで、皆さんの興味や意欲の刺激になればと願っています。今回参加された皆さんからは、「普段できない体験ができて良かった」「更に興味がわいた」「大変だけどやりがいを感じた」などといった感想をいただきました。次回も、多くの方のご参加をお待ちしています。

8月7日 高校生セミナー

医師不足の解消を目指し、養父市と当院が取り組む「やぶ医者プロジェクト事業」の企画として、高校生を対象としたセミナーを開催しました。セミナーでは、谷風院長、櫻井医師(研修医)、伊藤医師(研修医)の講演やフリートーク、胸骨圧迫や気管挿管、聴診器でシミュレーターの心音をきくなど体験実習を通して、少しだけ医療に触れていただきました。今回参加された皆さんに、一人でも多くの自分の夢に向かって進まれることを心より願っています。



8月27日 心に優しい邦楽・洋楽ジョイントコンサート

尺八とピアノの演奏による「心に優しい邦楽・洋楽ジョイントコンサート」が当院にて行われました。「さくらさくら」や「春の海」といった邦楽から「アヴェ・マリア」などの洋楽まで、水道管で作った尺八での演奏やピアノ伴奏による合唱も交えながら、素敵な共演を聴かせていただきました。



発行

公立八鹿病院 総務課

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878番地 1 TEL. 079-662-5555 (代) <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>

